

那加二東部 福祉だより

第43号

平成27年3月31日発行

編集・発行

各務原市社会福祉協議会

那加二東部支部

那加二東部支部には、現在十五の近隣ケアグループがあり、ボランティア活動を行っています。写真は二月二十日に行われた研修会の様子です。地域での研修会を通して、わかりやすく説明をしていただきました。

近隣ケア研修会

那加二東部支部には現在七グループあり、ボランティア活動を行っています。写真は、ボランティアグループの新年会の様子です。手作りのぜんざいを御馳走になりました。

ボランティアグループ



平成26年度社会福祉協議会那加二東部支部 年間活動報告 中間決算 (平成27年2月4日現在)

月	日	曜	活動内容
4月	4, 11, 24	金 金 木	第1回役員会(執行部4名) 第1回理事会(21名) 社協支部長・推進委員合同会議 ボランティアハウス(7グループ)8回
5月	9	金	第1回総会(理事・評議員 52名) ボランティアハウス(7グループ)8回
6月	6, 20	金 金	福祉だより第42号編集会議(委員4名) 近隣ケア研修会 ボランティアハウス(7グループ)8回
7月	4, 25	金 金	福祉だより第42号編集会議(委員4名) 親子ふれあいの会(映画) 青少年育成と共催(織田・信長集会場) ボランティアハウス(7グループ)8回
8月	1, 29	※ 金 金	社協会員募集推進月間 福祉だより第42号発行 第2回役員会(執行部4名) ボランティアハウス(7グループ)8回
9月	7, 12	※ 日 金	高齢者慰問共催・子供メッセージ添付 市福祉フェスティバルに参加 第2回理事会(21名) ボランティアハウス(7グループ)8回
10月	12, 17, 29, 31	※ 日 金 水 金	赤い羽根共同募金 市民運動会共催 高齢者ふれあい交流会 岐阜県社会福祉大会 福祉座談会 ボランティアハウス(7グループ)8回
11月	19	※ 水	各務原市社会福祉大会 ボランティアハウス(7グループ)8回
12月	12	※ 金	歳末福祉交流会 ボランティアハウス(7グループ)
1月	9, 16, 23	※ 金 金 金	第3回役員会(執行部4名) 健康増進教室 社協支部長・推進委員合同会議 ボランティアハウス(7グループ)8回
2月	6	※ 金	福祉だより第43号編集会議(委員4人) ボランティアハウス(7グループ)8回
3月	3, 6, 13, 31	※ 火 金 金 火	第4回役員会(執行部4名) 第3回理事会(21名) 第2回総会(理事・評議員52名) 福祉だより第43号発行 ボランティアハウス(7グループ)8回

【収入の部】 (単位:円)

科目	予算額	決算額
1 交付金	310,000	327,000
2 メニュー事業助成金	572,600	471,110
① 親子ふれあいの会	20,000	20,000
② 高齢者を囲む会	64,000	45,500
③ 福祉だより発行	139,800	64,776
④ ボランティアハウス	288,000	288,000
⑤ 福祉座談会	10,800	10,400
⑥ 近隣ケアグループ研修会	30,000	30,000
⑦ 福祉の人づくり育成	20,000	12,434
3 歳末たすけあい特別事業助成金	100,000	100,000
4 雑収入	15,045	15,022
小計	997,645	913,132
5 前年度繰越金	290,776	290,776
合計	1,288,421	1,203,908

【支出の部】 (単位:円)

科目	予算額	決算額
1 事務費	6,000	4,528
① 事務費	6,000	4,528
② 印刷費	0	0
2 会議費	37,700	20,985
① 役員会	3,500	2,316
② 理事会	7,200	6,152
③ 総会	27,000	12,517
3 共通実施事業費	24,225	27,200
① 福祉教育	24,225	27,200
4 メニュー事業費	667,518	554,514
① 親子ふれあいの会	46,200	47,560
② 高齢者を囲む会	131,248	100,470
③ 福祉だより発行	139,800	64,776
④ ボランティアハウス	288,000	288,000
⑤ 福祉座談会	12,420	12,093
⑥ 近隣ケアグループ研修会	29,900	29,181
⑦ 福祉の人づくり育成	19,950	12,434
5 歳末たすけあい特別事業費	107,950	115,780
① 歳末福祉交流会	107,950	115,780
6 その他の事業費	125,000	125,000
① 市民運動会助成金	100,000	100,000
② 青少年育成会助成金	10,000	10,000
③ シニアクラブ助成金	15,000	15,000
7 支部活動費	15,000	15,000
小計	983,393	863,007
8 予備費(次年度繰越金)	305,028	340,901
合計	1,288,421	1,203,908

高齢者を囲んで談笑

十月十七日の「高齢者ふれあい交流会」では、九十名の方に参加をして頂きました。午前の部では、市の出前講座で、黒田直子さんの手品と妻乱亭遊奈さんの落語を観賞しました。昼食では、弁当を町内ごとに談笑しながら楽しく食べることができました。午後の部では、ケアヌエヌエの皆さんによるフラダンスを観賞しました。お色直しもあるなど、さながらハワイイの様な楽しいひと時をすごせました。



福祉座談会で交流

十月三十一日の「福祉座談会」では、社協東部支部役員の方等五十二名の方に参加して頂きました。当日は、各自の住む町の地域事情と支部社協活動の課題について、五グループに分かれ話し合いをし、各グループごとに意見や感想をまとめグループごとに発表していただき終了。今後の支部事業の参考にしたと思います。



歳末助け合い特別事業

十二月十二日、「歳末福祉交流会」を自治会関係者等百六名の参加のもと行いました。午前からは、出前講座で「那加の歴史」と題して柳勇先生に御講演を頂き、知識を広めました。昼食では、弁当を町内ごとに楽しく談笑しながらいただきました。午後の部では、茂益亭蝶代さんによる落語を観賞、お母ちゃん助けて詐欺などの事例を愉快地学ぶことができました。



健康増進教室の開催

一月十六日、健康増進教室(体力測定)を、各自治会希望者、地域包括支援センター職員、支部役員等四十四名で行いました。知らない間に進んだ体力の衰えを確認することができ、生活を見直すきっかけとすることができました。



お色直しもあるなど、さながらハワイイの様な楽しいひと時をすごせました。



私の住む町から

今回は、楠町一・楠町二・門前町二・門前町三・門前町四自治会を紹介します。

楠町一自治会の活動

楠町一 稲川 豊愛

四月六日、楠町第一、第二自治会合同の春の例祭、子供会による「お神輿」が、例年通り盛大に両自治会町内を隅々まで練り歩きました。先立って執り行われた、楠町秋葉神社お祓いには、地元の神官様によ



り、両自治会三役と子供会役員で交通安全を祈願しました。三十二名の小学生をはじめ、幼児、父兄など約五十名の参加者で、各戸前を元気に大きな声でお神輿をつりました。各家々からは、在宅の家族の方々が玄関表まで出ていただき、ご祝儀と、「頑張つて」の声援をいただきました。子供たちは、笛と鐘と大きな「ワッショイ」で答えました。

子供会役員の方は、事前にお神輿のコースを計画し安全等を確認するとともに、回覧で各世帯に周知し、当日も拡声器で子供たちをリードしました。自治会役員もお揃いの法被を羽織り、おにも、先導と交通安全警備を担当しました。

当日は、市民公園周辺で「桜まつり」が行われていましたが、負けないくらい元氣一杯に楠町子供神輿が成功裏に終了することができました。子供から大人まで住民が一体となった取り組みです。

楠町二自治会の活動

楠町二 田中 勝支

楠町第一、第二自治会合同の三世代ふれあい行事を、十一月十六日(土)に開催をしました。子供会、シニアクラブ、近隣ケアグループの皆さんを中心に七十名の参加がありました。自治会、子供会の役員は経験者が少なく苦労しましたが、諸先輩方が残してくれた資料を基に二回に亘って打ち合わせを行いました。

競技をクロケ、ゴルフ、クロリティー(輪投げ)、缶ボールリングの三種目とし、競技員、参加賞、景品弁当等を、自治会、シニア、近隣ケア、子供会に役割分担を決定し実施



しました。

競技は、一チーム六名で九チーム作り、三グループにして、個人獲得点数を種目別に大人と子供に分けて、上位一位から三位までを表彰しました。プレーを通して、老いも若きも元氣はつらつ和氣あいあいのうちに町内の皆さんの絆を深めた大変楽しい一日でした。

表彰式の後、お楽しみのお食事で、全員がグループの輪になって手作りの味噌汁と弁当をいただきご満悦でした。最後に、各役員による反省会を行い、忌憚のない意見が数多く出され、大変参考になりました。このふれあいを通して支えてくれたすべての方々に感謝しお礼を申し上げます。

ボランティアハウス活動

門前町二 北野 憲弘

門前町二丁目自治会の自慢できるボランティアハウス活動について紹介します。

「ふれあいいきいきサロン門二」が活動を始めて十一年、以来毎月の第二・第四の金曜日に例会を行っています。現在会員は三十五名です。

四月のお花見会に始まり、グラウンドゴルフ、ペタンク、輪投げ、簡単料理の会の他、様々な小物作りの会

題になっていくところ。わが町内でも、現在二百世帯位ですが、その中で七十歳以上の高齢者の方が約百名ほど居られ、この小さな町にいても同様な状態です。



これから、ますます高齢化が進行すれば、独居老人とか、寝たきりの人が増加の一途をたどり、近い将来には人の住まない廃屋が増加したりして、危険性がますます高まることでしょう。

その様な事がないことを願いつつ、環境の整った町内で、皆が、健康で楽しく毎日を暮らせるように、隣近所の人たちと仲良くして、お互いに声を掛け合い、共に助け合う明るい町内になって欲しいと思う次第です。

町内行事に思う

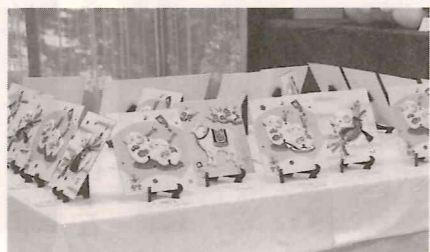
門前町三 末松 誠栄

全国的にも少子高齢化が益々進んでいる現状の中で、私たちが住む東部地区において、各自治会が予定をしている色々な行事が、人集めをしなければ実施できないものがどの自治会でも増えてきています。

特に、運動会、ソフトボール大会等々は、若い人や走つたりすることのできる人の確保が難しく参加できない自治会も増えてきています。更には、市民清掃や側溝清掃でも参加人数が半分の時もあります。この先、市全体として根本的に考えていかなければならないと感じています。

私たち門前町三丁目も、春の市の桜まつりに合わせてのみこし吊り行事では、子ども会より、みこし吊り行事はできないので中止したい旨の申し出がありました。役員会や、長く住んでおられる高齢の方々等からこれまで伝統としてやってきたみこし吊りを止めるのはどうかとの意見などがあり、協議の結果、町内の行事として行うこととなりました。子供たちや孫の居られる方には一緒にみこし吊り行事が、楽しく賑やかな

が十回あり、十一月の「東部自治会連合会趣味の作品展」には、活動成果として「千支大色紙」のグループ展示もしました。また二回のお楽しみ会もあり、秋には日帰りバス旅行も楽しみました。一月には新年会、年度末には活動報告反省会も行われます。活動に当たっては、代表者の山本典子さんを中心に、五名のスタッフのきめ細かい事前準備のお陰で毎回運営ができています。平均的参加者は二十五名程ですが、サロンでは手先も器用、お口もなめらかなで、笑顔の絶えない楽しいひと時となっています。男性の参加者が増えてくれることを希望しています。今後とも高齢者の交流の場として発展継続すること強く願っています。



地域の高齢化

門前町四 貞広 修

今年度町内役員となり、社協の仕事に接し思ったのですが、今、日本の少子高齢化について最近大きく問

